

令和3年8月吉日

記念事業にご賛同を賜りました皆様

## 環境都市工学科（旧土木工学科）創設50周年記念事業

### ご報告とお礼

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る令和2年度、環境都市工学科（旧土木工学科）は創設50周年を迎え、この節目を迎えられたことをお祝いし、また今後より一層の発展を遂げることを目指すため、以下の3つの記念事業を実施いたしました。

ここに略儀ながら書中をもちまして、その結果をご報告するとともに、ご賛同を賜りました皆様に心より厚く感謝を申し上げます。重ねて、皆様へのご報告が大変遅くなりましたことを深くお詫び申し上げます。

#### 1. 教育研究地域貢献推進基金の設立

環境都市工学科の教育、研究、地域貢献の諸活動を支援していただくための基金設立を目的とした募金活動を行い、以下のとおり多大なるご寄附を頂戴いたしました。

個人	91名	834,000円
企業・団体等	43社	2,140,000円
総額		2,974,000円

（令和3年8月末現在）

今後、頑張る学生への経済的支援（資格試験の受験料補助など）、課外活動への経済的支援（校外研修のバス借上費など）、学科のイメージアップへの経費（学科PR用ノベルティ等作製など）として、10年間を目処に活用していきます。一例として、5月に新入生を対象とした福井県の公共事業を学ぶ校外実習を行い、新九頭竜橋と一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の建設現場を見学する際のバス借上費に利用させていただきました。



## 2. 技術者情操教育のためのパネルの収集

学生が将来の技術者像を具体的にイメージできる情操教育を行うために、建設事業に関するパネル提供を企業様に依頼する活動を行い、12社よりご寄贈いただきました。現在、学生が週に1度は利用する環境都市工学科棟3階廊下の壁に掲示しております。なお、このパネル展示は永続的に実施しますので、引き続きパネルのご提供をお願い申し上げます。



## 3. 記念誌の刊行

環境都市工学科と同学科の同窓会（翔土会）のこれまでの50年を振り返り、これからの未来を語る記念誌（計42頁）が令和3年8月に完成いたしました。基金に一定額以上のご寄附を頂いた皆様に寄贈いたしますので是非ご高覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大は未だ収まらず、東京オリンピックでの選手の活躍はテレビで応援するだけの寂しい日々が続いています。ご家庭やご勤務先におかれましても不自由な毎日をお過ごしかと存じます。このような厳しい社会情勢のなか、記念事業の趣旨にご理解とご賛同を賜り、格別のご支援とご高配を賜りましたこと、改めて心より御礼申し上げます。

結びに、環境都市工学科は今後の社会情勢を見極めながら世の中が求める人材を輩出し、より力強く翔る魅力的な学科となるようスタッフ一同努めてまいり所存ですので、皆様におかれましては、引き続き本校の教育、研究、社会貢献の諸活動に変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

謹白

福井工業高等専門学校 環境都市工学科長 吉田雅穂  
翔土会（同窓会）会長 鎌谷武美

### 【お問い合わせ先】

〒916-8507 福井県鯖江市下司町  
福井工業高等専門学校 環境都市工学科  
学科長 吉田雅穂  
代表電話：0778-62-1111  
教員室直通電話：0778-62-8305  
Eメール：masaho@fukui-nct.ac.jp

## 基金へのご寄附ならびにパネルを寄贈していただいた皆様

学科創設 50 周年記念事業にご理解とご賛同を賜り誠にありがとうございます。

今後、環境都市工学科ホームページにおいて、基金へのご寄附ならびにパネルを寄贈していただいた皆様に顕彰させていただくため、ご芳名を記載させていただきたいと存じます。

ご芳名の記載を希望されない方は、大変ご面倒ですが、9 月末を目処に下記担当者までご連絡いただけますよう、よろしくお願いいたします。

### 【担当者】

翔土会事務局（田安） 電 話：0778-62-8300

メール：s d k @ f u k u i - n c t . a c . j p